

# 仙台市議会 市政活動報告 市民フォーラム仙台

2022年  
12月号

仙台市議会議員  
(青葉区)

## 佐藤わか子

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル3F  
TEL 022-266-7577 FAX 022-352-6190



### ごあいさつ

仙台市議会議員として活動させていただいてから、23年になります。この間常に心掛けてきたのは、どんな時も自然体で、気さくに市民の皆さんの声を聞いていくという事です。一番町の事務所に「お困りごと相談室」を、議員になりたての頃から開設し、電話や直接面接などでたくさんの人の相談にのってきました。全てが解決につながった訳ではありませんが、一生懸命寄り添う事で、少しでも安心してもらいたいという気持ちは、今でも変わりなく持ち続けています。「諦めない！逃げない！言い訳しない！」をモットーにこれからも、市民の皆さんのお役に立てる事を喜びとして、全力で走りぬいていく覚悟です。更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

わか子レポートでお知らせしても、なかなか進まない事業があります。今回は、市民の方から問い合わせのあった愛子駅のエレベーター設置とうなり坂の拡幅工事についてお答えします。

**問1**：仙山線愛子駅のエレベーター設置が、出来る、出来ると言われているのに全然進まないのはなぜですか？

**答え**：本当でしたら、もうとっくに工事に入っていたはずの事業でした。予算が取れて、昨年12月に入札までこぎつけていたのですが、残念な事に手を上げてくれる事業者が現れませんでした。1年かかりましたが、何とか引き受けてくれる所のめどが付きそうです。年内中に契約出来れば、来年1月ごろから工事に入れる見通しです。工事は2年ぐらいかかる予定ですが、愛子駅のエレベーター設置、やっと動きだしそうです。

**問2**：うなり坂の拡幅工事がストップしているが、本当にうなり坂の拡幅は実現するのか？

**答え**：必ず実現します。うなり坂の道路の下に水道や下水道などの管が埋められています。これを全て移設しなければならぬ大工事がはじまります。この道路には四谷用水もあることから工事期間が5年ほどかかる予定になっていますが、5年後には必ずうなり坂は見違えるような道路になっている事は確実です。

## お困りごと相談室 (市政に対するご提案・ご要望もお気軽にどうぞ！)

どんなことでもかまいませんので、いつでもお気軽にご連絡ください。

場所：佐藤わか子お困りごと相談室

住所：仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル3F

電話：022-266-7577 FAX：022-352-6190

E-mail：wakakos@beige.ocn.ne.jp URL：http://www.satowakako.com

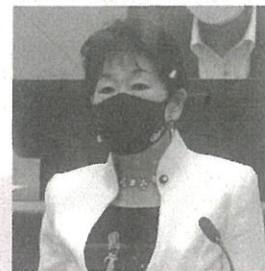
火、水、木曜日の10時から4時まではスタッフがおります。

それ以外、また緊急の場合は佐藤わか子の携帯にご連絡ください。携帯番号は **090-1060-1254**





9月の仙台市議会第3回定例会で行った一般質問と、それに対する答弁と私の考えを簡略し、レポートにまとめました。内容は、市民後見人について、学校の女子トイレに生理用品を設置する事、仙台すくすくサポート事業で利用会員の登録の簡素化などについてです。



### ～市民後見人がもっと活躍できる機会を作るべきでは？～

●**私の質問**:仙台市は市民後見人の養成講座を開いて、今まで68人の講座修了者が登録していたのに、ほとんど依頼がないという事で半分の方が辞められたと聞いている。これでは、お金をかけて養成講座を開く意味がないのではないかと家庭裁判所に強く働きかけをして、市民後見人を専任してもらえるようにすべきではないかご見解を伺う。

■**当局の答弁**:これまでも家庭裁判所をはじめ、弁護士会などの関係機関と受任の拡大について、協議を重ねており今後とも検討を重ねて行きたいと考えている。

★**私の考え**:協議や検討を重ねていると言う答弁だが、実際に受任の件数が全然伸びていない事をみれば、働きかけをしているという単なるポーズで終わっているのではと、危惧するものです。せっかく、養成講座まで開いて市民後見人を育てているならば、その人たちの活躍の場を、本気になって作り出していく努力が必要だと考えます。今後も家庭裁判所にどのような働きかけをしたのか、しっかりチェックしていき、市民後見人の方が、やりがいを持って活躍出来るように声を出し続けていきます。

### ～学校の女子トイレに生理用品を設置すべきでは？～

●**私の質問**:学校の女子トイレに生理用品を設置することに対して、仙台市は養育上の課題の早期発見のために保健室で配布するのが望ましい。という養護教諭のアンケート結果を重視し、設置を見送った経緯があるが、大分市では、養護教諭のアンケート結果は仙台市と同じだったのに、設置に賛同する意見が教職員や保護者から多く出されたことを受け、効果の検証を把握するため、モデル的に2か月間全市立学校の女子トイレに生理用品を設置しました。驚くべきことに保健室の相談に来る子が増えた。という結果も出ているとの事。仙台市としても、大分市のようにまずやってみて効果の検証を図るべきでは？ ご認識を伺う。

■**教育長の答弁**:生理用品の配布に関しては、保健室で相談に応じながら配布する手法をとって、こうした対応を継続していく事を基本に考えている。

★**私の考え**:教育長はDVとかネグレクトとかを早期発見するためには、保健室での配布が必要と強調するばかりでした。私が言いたかったのは、大分市

でもそのことは充分理解した上で、それでもまずやってみようとして設置したわけです。その結果、便利だ。全ての個室において欲しい。などの前向きな声が多く聞かれたとの事。まずやってみる事が重要だと思います。そしてその効果の検証をして、どうしても保健室の配布が良い。という事になれば、保健室の配布を続ければ良いだけなのです。今後も諦めないで、試験的にでも学校の女子トイレに生理用品を設置するよう働きかけていくつもりです。

### ～仙台すくすくサポート事業の利用会員登録をもっと簡素化し利用しやすくすべきでは？～

●**私の質問**:子供を預かって欲しい利用会員と、預かる事が出来る協力会員と相互の信頼関係で子育て支援を行う仙台すくすくサポート事業は、大変人気の事業で、今利用会員は3000名ほどいると聞いているが、仙台市のすくすくサポート事業は大変使いづらいと転勤族の保護者の方から聞いている。他都市では利用会員の登録は、事業所の窓口に登録の申請をするだけで簡単に出来るが、仙台市だけ、利用会員も説明会に参加しなければ、登録できないようになっている。子どもを預かる協力会員なら分かるが、なぜ子供を預けたいだけの利用会員にも説明会への参加を義務付けしているのか、簡素化して利用しやすくすべきと思うがいかがか？

■**当局の答弁**:事業を利用いただく時の注意事項や、利用料金の受け渡しなど、利用会員にも事業の仕組みも理解していただく事が重要と考えております。

★**私の考え**:他都市で出来て、仙台市が出来ないのをおかしいと思います。事務所に登録に来てもらったときに、充分説明できるはずですが、それよりも、転勤してきて、すぐにでもすくすく事業を使いたいと思っても、説明会に出なければ登録出来ないとなれば、面倒くさいという事で、せっかくある事業も魅力半減してしまいます。子育て支援ほど、都市間競争が激しい分野はないのです。若い子育て世代は、常に子育て支援の情報を比較しています。仙台市も子育てで、選ばれる都市になるためには、他都市でやっている事は、仙台市もやるべきですよ。この問題に関しては実現するまで言い続けるつもりです。